

一緒に読むならどんな本がいい？

子どもが好きなものや遊びなど、身近なことが取り上げられている本はいかがですか。

一度に長い物語を読もうとしないで、遊びの要素がある本や、子どもが関心を持っているジャンルの本を読んでみるのもいいかもしれません。

少し本を読むことが難しそうに思えたら・・・

大阪府では、本を読むことが苦手な子どもと一緒に読んで楽しめる本を紹介するブックリストを作成しています。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiiku/libreso/booklist.html>



ブックリストの中から4冊を紹介します。ほかにもたくさん本を紹介していますので、是非ご活用ください。



子どもとふれあう時間をつくりたい。

そんなときは、一緒に言葉遊びができる本はいかがでしょう？

『うしはどこでも「モ〜!」』

エレン・スラスキー・ワインスティーン／作

ケネス・アンダーソン／絵 桂かい枝／訳

鈴木出版 2008年12月発行 1400円+税

犬は、イギリスでは「バウワウ、バウワウ」、スペインでは「グァウ、グァウ」、フランスでは「ワウ、ワウ」と鳴くというように、日本での鳴き声とは違う、外国での聞こえ方を紹介します。ほかにカエル、アヒルなどが登場しますが、牛はどの国でも「モ〜!」というページが繰り返し挿入されます。落語家の翻訳による大阪弁の語り口も愉快的な絵本です。



子どもの好きな食べものを一緒に作った時や、食べた時にいかがでしょうか？

『ぐるぐるカレー』 -ぐるぐるえほん-

矢野アケミ／作

アリス館 2012年8月発行 950円＋税

「まあるいかたち、なににいれる？」の問いかけで、お鍋にたまねぎ、お肉、にんじんなどカレーの材料を入れて、ぐるぐるぐるぐるまわしてまわして、おいしいカレーを作ります。

丸い形に指をあてて、ぐるぐる～と回して楽しめ、ごっこ遊びにも発展する「ぐるぐるえほん」シリーズの1冊です。



絵本で見たことを試してみたくなったり、遊んで知ったことをお話で楽しめたりする、こんな本はどうでしょうか？

『びっくりまつぼっくり』

(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)

多田多恵子／文 堀川理万子／絵

福音館書店 2010年9月発行 900円+税

公園でまつぼっくりを見つけた男の子は、眺めて遊んで、近くの手すりの上に並べて帰ります。雨の日に傍を通ると、まつぼっくりは水にぬれて小さくしぼんでいました。持って帰って一晩経つと今度は元の大きさに戻りました。まつぼっくりの変化への発見や驚きが子どもの目線で描かれています。巻末の「ビンにまつぼっくりを入れる手品」は実際にやってみるとびっくりするでしょう。



想像の世界を楽しんでみるなら、こんな本はどうでしょう。

『ぶたのたね』

佐々木マキ／作・絵

絵本館 1989年10月発行 1200円＋税

走るのが遅い狼は、ぶたを捕まえたことはありません。きつね博士からぶたの実が成る不思議なたねをもらって育て、やがて沢山のぶたが成りました。ぞうのマラソン大会のせいでぶたはみんな落ちて逃げてしまいましたが、狼は「こんどこそ！」と思い、もう一度ぶたのたねを植えました。はっきりした輪郭の見やすい絵で、なんとしてでもぶたを食べたい狼の滑稽さや、失敗しても諦めない姿が描かれています。



本があるところにでかけませんか？

図書館

- さまざまなジャンルの本があり、子どもが多く
の本から自由に選ぶことができます。
- 読みたい本が図書館にないときには、貸出し中
の本を予約することや、他の図書館にある本の取寄せができます。
- どんな本がいいか迷った時は司書に相談してみましょう。
- おはなし会などの子ども向け催しをしているところもあります。特に「こどもの読書
週間」、夏休み期間、「読書週間」は、子ども向けの企画をたくさん開催しています。



写真提供：箕面市立中央図書館

子ども文庫

- 個人宅や集会所で、地域の子どもの本の貸出しや読み聞かせを行っています。
- 「読書の楽しさを知ってほしい」思いのある方々がつくるアットホームな空間が魅力
です。
- 地域の子ども文庫の情報は、自治体の図書館で紹介してもらえる場合もあります。

書店

- 新刊が手に入り、お店の個性によって特徴のある本選びをしています。
- おはなし会や絵本作家のワークショップなどを行うお店も増えています。

